

なみきり

茨城県笠間市福島五五二
電話〇二九六一七二一三七四二
URL <http://www.iwamamiki-ri.net>

第二号
平成24年10月12日
発行 岩間波切不動寺

前号の三つの柱 先祖供養・護摩・祈禱と
因縁が今回のテーマです。

皆さんは「因縁」という言葉を聞いたことがありますか？

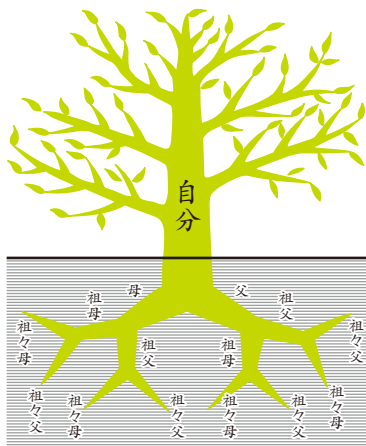
因 縁

よく「因縁」という言葉を耳にします。「因縁」とはお釈迦さまが発見した宇宙の法則のことです。ものごと（結果）は、因（原因）と縁（環境）により成っています。例えば、今朝食べたナスの漬け物が美味しかったので、ナスについて考えてみましょう。

ナスの種（因）を、肥やしをたくさん含んだ土に撒き水を与える（縁）と、芽が出て、膨らんで花が咲いて、ナスがなる（果）。ナスの種という原因にたくさん水の縁がつながってナスの実がなるのです。土がなくても水がなくても、日がなくても、空気がなくても、時間がなくてもナスは実をつけないのです。ナスの実一つ考えても、一粒の種に対して数え切れないほどの縁をもってようやくナスの実がなっていることが分かります。そのナスの実を誰がどのようにどんな材料と一緒に、どんな塩加減で漬けるかで全く味も食感も違ってくる。違う料理にだっとなります。縁が一つ違えば結果が全く違うことになってしまうのです。

でも、これはなにも植物の世界に限ったことではありません。私たち人間の世界でも同じコトが言えます。例えば私という人間について考えても、父という人間と、母という人間のお互いの因縁が合わさり、この世に生まれたのです。そして、様々な縁をいただき今の

自分があるのです。その父母も祖父母の因縁が合わさり生まれてきていて、祖父母も祖祖父母の因縁が合わさり生まれてきたのです。善い因縁も悪い因縁も全てが合わさり、今の自分があるのです。「蒔けば生え 蒔かねば生えぬ 善悪の人は知らねど 種は正直」という歌がありますが、今現れている全ての事柄は良いことも悪いことも、目には見えないけれど全て因縁によりまるといっています。



下に父母という二本の大根があり、その父母にも二本の大根がある図です。

植物を育てたことのある方ならおわかりになるでしょう。植物で一番大事なのは根です。根がしっかりと張っていなければ幹は空に向かってまっすぐ伸びませんし、根に虫がついたり根が枯れたりすれば、たちまち木は枯れてしまいます。いくら幹に水や栄養をあげても枯れてしまいます。この根に虫がついていないか、栄養は足りているか心を配ることが先祖供養です。根が苦しんでいるのに、幹が元気にまるまる太るということはありません。根が病気で苦しんでいるということは、先祖が生前犯した罪で苦しんでいるということです。

先祖という根が元気でたくましく強く張ったところに、お不動さんの優しい日の光や熱、観音さんの全てを潤す水がそそがれることで幹が元気になり、子孫である実が立派になるのです。

さらに先祖について、このようなわかりやすい絵があります。地上に見えている幹は現在の自分です。地下には掘らなければ目には見えませんが根が張っています。自分の

●●● お知らせ ●●●

八千枚護摩

12月9日午前9時からの第二日曜の護摩は不動八千枚護摩です。八千枚護摩とはお釈迦様があの世この世を八千回生まれ変わり死に変わりしながら修行したことになむ護摩です。行者は12月の第一日曜日から一週間かけてお不動さんの真言を十万返唱えます。その間他の人との会話を絶ち、穀物と塩を絶ち、最後の一日は水すらも絶ちます。こうすることで行者はお不動さんになり、お参りにくる方の幸せを妨げる種（悪業）を焼き尽くします。12月3日〜8日まで一日3座の護摩が焼かれます。時間は6時頃・13時頃・19時頃です。行者の体調や行の進み具合によって時間が少し前後するので「頃」になります。真言宗の二大難行の一つといわれる修行でなかなか巡り会えない修行です。行者はみなさんが今年一年間の間に作ってしまった幸せを妨げる種（悪業）を焼き尽くします。結願の12月9日には万障お練り合わせの上ご家族そろってお参りください。また一日3座の行にもお参りいただけます。

お葬式について

先日こんなご相談を受けました。「ウチはどこの寺の檀家にもなっていないので、母が亡くなったからお葬式をお願いしたい。」また、「葬儀屋さんが向けてくれる縁もゆかりもないお坊さんにお葬式を任せたくない。」ということでした。お葬式は亡くなった方を出家得度（お坊さんにする）させて仏さまの弟子にする儀式です。さらに真言宗の場合お大師さんから続く法の流れを死者にそのまま授け成仏させる灌頂の儀式でもありますから「縁もゆかりもないお葬式だけに派遣されるお坊さんに任せたくない」という気持ちも分かります。皆さんの中にも同じ悩みを持っている方が居られましたら一度当山にご相談ください。また親戚、友人、知人等にもご紹介下さい。死者が迷わないようにしっかりと拝ませて頂きます。

体験通信記

〈護摩〉護摩の功德

さあ、根が元気になったら日と水と栄養を与えればいいわけです。お不動さんの日の光は常に降り注がれています。観音さんの汚れを流し、渴きを癒す水は常に降り注がれています。誰にでも平等に。でも日も水も受け取るのが上手な人と下手な人がいます。**素直に信じる人は受け取るのが上手です。逆にひねくれていて信じられない人はなかなか受け取れません。**

（ケース1）

Dさん（仮名・60代女性）はとてもきれいすぎで働き者のご夫人。原因不明のイボが手の甲全体にできてしまったのが悩みです。Dさんのご自宅にご祈祷に伺っても庭には草一本生えていません。はたから見てもとてもお洒落な方ですから、顔の次によく見られる手がボコボコとイボになっていればとても深い悩みになるはずですが。大久保先生も気の毒でその話題には触れられないほどでした。後にご本人に聞いたところ、やはり長年手にできたたくさんのイボで深く悩んでいるということでした。イボの表面はガサガサとかさぶた状になっていました。手の甲に広範囲にできていて根も深いので薬をつけても駄目で、手術もできない状態でした。しかし、護摩が終わった後、護摩の残り火に手の甲をかざし続けたところ、なんと2ヶ月できれいな手になってしまいました。Dさんは「どこにいても、なにをやってもきれいなならなかったのにお護摩ですごくいですね。」と毎月の護摩にかかさずお参りに来られるようになりました。

（ケース2）

Eさん（仮名・50代男性）は毎朝欠かさず仕事の前にお不動さんにお参りをしています。Eさ



んの息子さんはテレビ局に勤めていたが、ある日あまりにも多忙な日々と、仕事での失敗で失踪してしまいました。警察に捜索願を出しましたがいつかこうに見つかりませんでした。警察に任せていても始まりません。お寺に相談すると「息子さんのお口座にお金を振り込んでみなさい」何度か振り込んで残高を見れば生きているか死んでいるか分かるかと教わり、生きていることが分かりました。そうこうしていましたがEさんは、いてもたってもいられなくなり息子さんが使う駅周辺を探すことにしました。都内で全く行ったことのないところで右も左も分かりません。ですが、たまたま車をとめた駐車場が目前のまんが喫茶店がとても気になりました。早速まんが喫茶店に向かおうとすると、なんと中から息子さんが出てきました。その後もEさんは土曜も日曜もなく毎朝必ずお参りにいらつしやいます。

（ケース3）

Fさん（仮名・40代男性）は重機などを作り輸出する会社の社員です。リーマンショック以降残業、夜勤などが全くなり給料が3分の1以下になってしまいました。手取りの給料は家のローン分にすらなくなってしまうのです。でも毎月必ず3回の護摩にお参りしました。ご宝前を上げるのがとても大変でした。でもFさんは熱烈な信仰心からご宝前を上げ祈り続けました。家は築十年近くにもなり、地価も下がってしまったので売却しても大変な借金が残ってしまいました。そこで大久保先生に相談すると、「2300万で七月に売れる」と言われました。しかし銀行は「1000万位じゃなきゃ売れない」と言います。

Fさんは家をきれいに掃除して、大久保先生の言葉をひたすら信じて待ちました。でも途中待ちきれず2100万に値下げしました。そして七月になるとなんと現金一括、2100万で売れました。売買の時、銀行で買主が持ってきた金額を見てF

さんはさらにびっくり。「足りないといけないから」と2300万の現金を持参していたそうです。「待つていられなかった分が残債になったけど、ほんとうにお不動さんはすごいですね。ありがとうございます。」とお礼参りに来られました。

さて、三つのケースには「**お不動さんを素直に信じ、すべておまかせした**」という共通点があります。どうにもならない状況でも、お護摩に通ってお不動さんにすがったのです。信じてお参りし、真剣に祈ることがとても大切です。お不動さんが私たちを助けようとする力・大久保先生をはじめとする行者さんがお参りに来た方のために真剣に祈る力・お参りにくる方が真剣にお不動さんを信じお祈りする力の三つの力が合わさったとき不思議が起こります。どうにもならないと思われていたことがなんとかなってしまふ。真剣にお参りにくる方は漏らさず救ってくださるのが岩間波切不動寺のお不動さんです。



〈先祖供養〉波切不動寺秘法「二座式供養法」

根である先祖を元気にするには供養しかありません。供養とは読んで字のごとく「供え養う」ことです。元気な根にたくさんの栄養と水を吸わせることが大切です。根が栄養を吸収できる元気な状態になるには、病気や虫を発見し対処しなくてはなりません。

ではここでいう根の病気や虫ってなんでしよう。病気とは先祖が犯した罪のことです。虫とはその罪によって苦しめられた人や、同じような罪

を犯して苦しんでいる人です。例えば、ある先祖「祖父A」が不倫をしていた事が根の病気ということ。当然祖母は苦しみます。また、不倫相手の夫も子供も苦しみます。「祖父A」は「不倫」という行為により何人も人を泣かせ、苦しめます。やがて「先祖A」は死に、苦しみを受けた人々も「先祖A」に恨みを持って死んでゆきます。すると「先祖A」の家族は「先祖A」を供養しようとし、しかし「先祖A」に苦しめられた祖母や不倫相手の夫や家族は

「私は先祖Aに苦しめられたのに先祖Aを供養する？そんなわけにはいきませんか！」

と邪魔をするわけです。であるならば、さきに泣かされた人々たちを供養してしまおう。とこういうことです。また、正式な妻があるのに不倫をしたことが仏教では罪になりますから、先祖Aはこの罪でも苦しみます。そして、不倫という同じ罪に苦しむ霊が弱いもの同士傷をなめ合うが如くに寄っています。この霊も「同じ悪いコトしたのに先祖Aだけ助かったらズルイ！」と足を引っ張るわけです。これは極端な例かもしれませんが、人は生きていく中で知らず知らずのうちに、数え切れないほどの罪を作ってしまう。二座式供養の前半の座では〇〇家先祖だけにではなく、ありとあらゆるたましいを慰めます。先祖が苦しめた他の人のたましいを慰めるのです。その後の座で〇〇家先祖にと祈ると、邪魔するものがなく、祈ったコトがそのまま通るのです。

虫もわけがあつて根についているわけですから、駆除してしまつたらいいけません。駆除しようとすると態度を見せただけで怒ります。見えないものが怒れば全てがうまくいきません。虫の苦しみを思い苦しみを除いてあげることが大切です。二座式供養をして驚くような御利益を頂いた方がいます。

ケース1

Bさん（仮名・60代女性）の息子は40才を前にも

う5年もひきこもり状態。昼でも雨戸は閉めっぱなし。息子は日に数度トイレに出てくるだけです。ご飯はBさんがおにぎりを部屋の入り口に置きまします。息子の髪は腰まで伸び、ひげも伸ばしっぱなし、風呂にも数年入っていません。よくよく悩んでしまったBさんは大久保先生に相談すると、「ご飯が食べられず、自殺してしまつた人がいませんか」「長屋門に老婆と住んでいて」「入母屋の母屋に食べ物をもらいに行つても無下に断られ」「海辺に軽トラックを停め、靴を脱ぎそろえ・・・」とここまで言う。Bさんは「主人の弟です」といいました。様々な事情があつたわけですがとにかくこの義弟さんを供養しないことには絶対に息子さんは良くなりません。早速二座式供養をすることにしました。毎月一回三ヶ月続けるとある日息子さんは

「おふくろ、金くれ。床屋に行つてくる。」と部屋から出てきました。わけを聞くと、こうもしてられないから明日ハローワークに行くといふのです。Bさんは信じられない気持ちです。次の日息子さんが身支度を調べハローワークへ行くこと福島の原発の仕事があつたそうです。Bさんは放射能が心配でしたがそんなことは言っていられませんが。あのひきこもり状態でなくなるうえに、誰かの役に立ち息子さんが自立できるならいいと考えました。その後息子さんはすぐ原発の仕事は決まり福島にいつてしまい、一ヶ月程したある日「今度は東京に行く」と帰つてきました。福島でお金を貯め、東京で就職口を見つけたそうです。3回の二座式供養を終え半年も経たないうちにこのような報告とお礼のお参りがありました。

ケース2

Cさん（仮名・50代男性）の娘さんは医師薬系の大学に通うとても優秀な学生です。学内の競争はとても厳しく、成績が学内掲示板に実名入りで発表されるそう



です。娘さんはとても優秀な成績で上位にランキングして嫉まれ、いじめの対象になってしまいました。それによつて根も葉もない噂を立てられ、仲間はずれにされ学校に行くのが嫌になってしまいました。さらに私どもが見たところ娘さんはずもすっかりしているように感じるのですが、Cさん夫妻にはまるで幼稚園の子供のように駄々をこねるといふのです。ある日の夜遅く「もう明日の飛行機で茨城に帰る。」とCさんに電話がありました。次の日Cさんはお寺に相談しました。よく相談を聞いていると蛍光灯しかない部屋の途中で、Cさん夫妻の目の中にオレンジ色の光を発見しました。「これはほとけさんが何かを訴えようとしている」「聞いているところの駄々のこねようといひ水子さんに違いない」と観じました。それを夫妻に告げると娘さんのすぐ上に一人水子さんがいて、全く供養をしていないといふことでした。今いる子供さんの上に水子さんがいて全く供養してないと

「どうしてわたしは生まれられなかったのに、いもうとは生まれられるの？ずるい。パパとママは私のこと忘れちゃつたの？パパとママしか頼る人がいないのに。悲しい。こつちを見て。」となるわけです。そこで早速二座式供養をすることになりました。するとなんと二座式供養をすればめでただけで次の日の朝「あんな人たちに負けてられない。絶対卒業する！」と電話がかかつてきたそうで喜びの報告をうけました。

「悪い因縁を造らないで良い因縁を造ることの大切さ」に気付き、護摩にお参りしたり、印仏をしたり、お寺の奉仕作業をしたりして罪を消すことを心がけていければいいですが、そういう方ばかりではありません。先祖と全ての霊の苦しみを除いて供物とお経を届ける。波切不動寺秘法「二座式供養」は全てのかたにおすすめる開運の近道です。

〈祈祷〉三寶荒神さん

「何をしてもうまくいかない」「やる気が出ない」「病気をしている」「泥棒が入る(った)」「ケンカが絶えない」「悪い夢を見て毎晩眠れない」「ばけものが見え、それにおそわれる」「誰かに呪われている」「余計な一言で災いを受けてしまう」「家族が皆早死にする」等の悩みを持った方は荒神供に一度お参り下さい。

と申しますのも九月のあるさわやかな朝のことでした。毎朝の通り勤行をして神様を拝み始めると、大久保先生が急に咳き込みだし、おう吐してしまいました。悪い気の働きによって先生がこのような状態になります。この状態のとき先生は夜も眠れず体調が悪く、イライラし、何を拝んでも叶いません。苦しそうな先生を横目に祝詞を続け悪い気を神様に祓って頂きました。するとどこからか「荒神供をしろ！表白をよく読んでみる！」との声が聞こえました。言われてみればここ数ヶ月荒神供をしていませんでした。勤行を終え早速荒神供の表白をよく読んでみました。表白というのは神さまや仏さまを拝むとき、その神さまや仏さまが持っている徳をたたえ、拝もうとする目的を表し白(もう)し上げる文です。要約すると

お釈迦さんの弟子の舍利弗尊者が、仏教を広めて世の中を明るくしようとお寺を建て、仏像を造り、お経を写しました。でも夜になると荒神さんが現れ、これらみんなを壊し破いてしまいます。舍利弗は「なぜそんなことをするのか、どうすればうまくいくのか」と聞きました。荒神さんは「うまくいかないのは私に帰依しないからで、きれいな場所ですと心と心をきれいにしておあなたの財力の範囲で、できる限りのお供えをして拝みなさい」と答えました。

さらに、荒神さんは常に私たちの誰にでもついていて、「何をしてもうまくいかない」「やる気が出ない」「病気をしている」「泥棒が入る(った)」「ケンカが絶えない」「悪い夢を見て毎晩眠れない」「ばけものが見え、それにおそわれる」「誰かに呪われて

いる」「余計な一言で災いを受けてしまう」「家族が皆早死にする」等は皆荒神さんとその家来をないがしろにした結果であることと、「なにか事を始めよう」としている」とときには必ず荒神さんを拝みなさいということ教えてくれました。

そこで舍利弗尊者は素直に荒神さんに教わったようにすると、上記の悪いコトは全く起らず、思ったように事が運び、心は安らかで快く、良いことばかりが起り、命は鶴亀のように長くなり、ますます名声も上がり、財宝も山のように集まり舍利弗尊者のお寺の中は喜びと幸せでいっぱいになりました。

このようなことがかいてあります。早速私もは暦を見て荒神供を始めました。岩間波切不動寺も誰もが気持ちよくいつでもお参りできるように「新しくお寺を建てようとしている」からです。荒神供は暦によつてしてはいけない日と、するとも良い日が決まっています。とにかく100座。丁寧な心を込めて拝みます。太い字のところが大切です。太い字に当てはまる方は是非お参り下さい。

荒神供は夜8時30分より。お参りに来たいたはお寺にお問い合わせ下さい。ツイッター@namikinhudouにもあげておきます。

平成24年度 御奉納報告

- 1.室内放送設備一式 東京都(有)丸三電気 樽見昭男殿
2.波切不動寺看板一式 かすみがうら市(有)藤井工芸 藤井久男殿
3.駐車場拡張工事一式 茨城町(有)浦井工務店 浦井安正殿
4.駐車場拡張工事一式 日立市(株)日立リース機工 助川貢一殿
5.献灯台二基 常陸太田市 鈴木鉄工(株) 鈴木 栄殿
6.テント二張 かすみがうら市(株)シンドウ 真藤賢実殿
7.室内クーラー3台 行方市 清宮電気(株) 清宮 隆殿
8.工作機械3台 広島県福山市 日切大師弘元寺 信徒殿
9.馨子 発願大施主(有)浦井工務店 浦井安正殿
馨子寄進では多数の方のお心寄せがありました。馨子本体に刻名しご報告とさせていただきます。
10.寺新築の奉納金 1,088万円現在となっております

25年度 年間行事予定

来年の話をするとう鬼が笑うといいますが鬼も笑わせましょう。笑う門には福来たと申します。先の予定を立てることはとても良いことです。来年も年始めからいろいろな行事がありますが、たくさんお参りしてより深くお不動さんと縁を結んで下さい。

Table with 4 columns: 毎月, 第二日曜日, 時間, 行事内容. Rows include 日曜護摩, 十一面観音縁日護摩, 正月護摩, etc.

おくやみ

鶴田勝慧(勝利)行者 行年70歳 去る平成24年7月26日急逝 生前の当山興隆への尽力に感謝し 謹んでご冥福をお祈りいたします。

今年の大黒天縁日は下記の夜中23:30~集合で始まります

平成24年10月29日・12月28日、平成25年2月26日・4月27日・6月26日・8月25日・10月24日・12月23日

大黒天一時千座法は回を重ねることにより、大黒さまの力が強くなります。出来る限りたくさん参加して、たくさんのお利益をお受け取り下さい。